

村立学校施設の耐震診断等実施結果について

飛島村では、昭和56年以前の旧耐震基準により建築された小中学校の校舎及び体育館について、平成15年度までに耐震診断及び耐力度調査を実施しました。

現在、平成22年度の開校を目指し小中一貫校の建設が進められており、完成にともない小学校及び中学校は移転することとしております。

耐震診断等実施状況一覧表

学校名	建物区分 (建築年度)	耐震診断等 実施年度	耐震診断等 結果	耐震補強 実施状況
飛島小学校	南館 (昭和43年)	平成14年	耐力度調査 3515<5000	(取壊予定)
	北館(西棟) (昭和36年)	平成14年	耐力度調査 3105<5000	(取壊予定)
	北館(東棟) (昭和48年)	平成14年	耐力度調査 4423<5000	(取壊予定)
	体育館 (昭和50年)	平成15年	耐震診断 0.25<0.70	未定
飛島中学校	西棟 (昭和45年)	平成14年	耐震診断 0.38<0.70	平成16年度
	東棟 (昭和51年)	平成14年	耐震診断 0.79>0.70	補強の必要なし
	体育館 (昭和39年)	平成15年	耐震診断 0.1<0.70	平成17年度

※耐震診断(Is値)

Is値とは構造耐震指標で、建物の耐震性を判定する指標です。耐震診断の結果は、Is値という値で示され、耐震診断の判断基準となります。

建築基準法では、Is値は0.6ですが、学校は安全基準を0.1上げて0.7以上としています。

※耐力度調査

「耐力度調査」は老朽化した建物に対して、建物の構造耐力、経過年数、立地条件などを総合的に調査し、老朽化の度合いを判定するものであり、所要の点数(5000点)に達していないものを「危険改築事業」の対象としています。